

VI ISMRM 2025におけるMRI最新動向

5. ISMRT memberの視点から見るISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition —— ISMRTとISMRT Annual Meetingの紹介

高島 弘幸 北海道大学大学院保健科学研究院医学生理工学分野

ISMRTの概要

「ISMRT って何？」と聞かれることが多いので、本稿ではまずISMRTの紹介から始める。ISMRT (International Society for MR Radiographers and Technologists) は、ISMRMの専門部門として設立された、MRIにかかわる技師および技術者を対象とした組織である。入会の際に、会員資格を確認するために、curriculum vitae (英文の履歴書) の提出が必要である。ISMRTは、MR撮像の技術的進展、安全管理、臨床応用、教育・研修の国際的標準化を目的とし、現在では世界各国にNational ChapterやDivisionを有する国際ネットワークとして機能している。ISMRTの特徴は、臨床現場における撮像技術や安全運用に関する知見、実践的な教育活動に重点を置いている点にある。近年では、人工知能(AI)の導入やさまざまな撮像技術の登場、安全意識の向上に伴い、技術者の果たす役割も、より高度化・専門化している。その支援基盤としてISMRTの存在意義はますます高まっており、会員のバックグラウンドも多種多様である。

2025年4月現在のISMRTの会員数は1844名であり、国別の会員数は、オーストラリア、アメリカ合衆国、ニュージーランドの次に、日本が多い。前述したように、ISMRTはISMRMの部門であることから、ISMRMのstudy groupに加入できること、また、ISMRMが企

画するセミナーやオンラインミーティングは、会員価格(ほとんど無料)で参加することが可能である。興味のある方は、Webサイトなどを参照いただければ幸いである。また、ISMRM、ISMRT共に複数年の会員となることで、年会費にディスカウントがあることも特徴の一つかもしれない。

図1に示すとおり、実はISMRMの学術大会も、正式名称はISMRM & ISMRT Annual Meeting & ExhibitionというようにISMRTが入っており、今後はISMRTのことを少しでも心にとめておいていただければ幸いである。一方、ISMRMの会期は、ホノルルでは2025年5月10～15日であったのに対し、ISMRTは5月9～12日となっており、例年、開始が1日早い。ただし、開始日程が異なることについては、今後、変更となる可能性があるかもしれない。ISMRTには、ISMRM同様、National Chapterが存在するが、その構成はISMRMと若干異なっている。ISMRTは、3つのNational Chapter、28の

Divisionで構成されている。2024年には、ISMRT Japan Divisionが設立され、少しずつ活動を拡大しているところである。

2025 ISMRT Annual Meetingの内容

2025年のISMRT Annual Meetingの参加登録者は315名であり、招待講演が48、97のポスター発表と6の口述発表があった。専門セッションが多数設けられ、セッションは臓器別・技術別に多岐にわたり、実務に直結する内容とともに、最新の臨床研究も紹介されていた。特に注目されたセッションは以下のとおりである。

- MRIの安全性に関する最新アップデート
- 脳神経領域におけるMRIと超音波の融合技術の臨床応用
- 小児筋疾患を対象とした骨格筋MR撮像の最新動向
- 心臓領域における高精度撮像および



図1 2025ホノルルおよび2026ケープタウンミーティングの紹介
ISMRTも同時に開催されており、ISMRM、ISMRT、どちらで参加登録をしても双方に参加が可能である。